

2012年1月1日発行

エコ・リサ通信 第77号

特定非営利活動法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会広報

資源循環推進課コーナー

【3R推進員カード】

《表》

◆埼玉県3R推進員 — 新たな認定制度を開始しています ～ 日々の生活から みんなで 3Rを広げましょう ～

☆3R推進員とは・・・

3R（リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生使用））に関する様々な取組を自発的に行う方

☆登録の方法

*3R促進に関する公的団体等の講座等を受講後、希望者する方に、3R推進員カードを提供。

*登録者は3R推進に係る具体的な行動を宣言する。（カード裏面を利用）

（平成23年10月末日現在、800名登録）

☆埼玉エコ・リサイクル連絡会には、3R推進員認定制度に協力して頂くことになりました。

今後は、会が運営する環境講座の受講者（希望者）にこのカードを配布します。



◆未来へ3R ～埼玉サイクリングフェスティバルにおける3R推進啓発活動～

開催日：平成23年10月16日（日）

場所：埼玉県上尾運動公園

活動内容：①啓発パネルやマイバッグ等の展示

②ごみ減量化への協力呼びかけ
とアンケート実施

【キャンペーンの様子】



【アンケート結果】(抜粋)

*レジ袋辞退とマイバッグの持参について

いつも持参している	45%(45)
持っていきときもある	32%(36)
持っていないが、できるだけレジ袋はもらわないようにしている。	13% (3)
持っていない	10%(15)

()内は昨年の結果

*レジ袋の無料配布をやめ有料化についてどう思いますか

賛成	46%(49)
どちらとも言えない	46%(40)
反対	8%(11)

()内は昨年の結果

※平成20年度の同様の調査では

賛成 44% / どちらとも言えない 31% / 反対 20%

※ 全体として、マイバッグ持参やレジ袋はできるだけ断るという行動への認識は広まったと言える結果であった。

☆☆☆これからも循環型社会の構築に向け、3Rを推進しましょう!!!



「化学物質と私たちの暮らし」



講師は、学生時代にミツバチの研究をしていたという埼玉県環境部大気環境課の小川政彦氏です。放射能についてお詳しいのではとお聞きしたところ、測定のみで、問合せ対応は危機管理部の担当だそうです。

【県政出前講座より】

1. 化学物質とは
2. P R T R制度と県条例
3. 埼玉県の取組み

についてお話していただきました。

アルコールも塩も身近な化学物質と、わかりやすい例で化学物質が便利な生活をもたらしたこと、その有害性やリスクについては、“ 檻（適正管理）のなかのライオン（危険）” に例えてお話されました。要は、使用量や使い方次第ということなのですね。

P R T R制度は、人の健康や生態系に有害なおそれのある化学物質が、どこからどれだけ排出されているかを知るための仕組みです。埼玉県は[生活環境保全条例]で対象物質の数や、取扱量、工場管理や環境保全の取組、立入指導権限などP R T R法より厳しい基準をもうけて排出量低減に取り組んでいます。家庭からの排出量が横ばいで減らないそうで、私たちの努力も必要と反省しました。



また、県は排出削減のために、事業者や県民への取組をしていて、特に事業者の説明と、住民の意見交換の場として 環境コミュニケーション を推進しているそうです。このような取組があることを知らなかったのですが、ぜひ参加してみたいと思いました。他にも、出前講座・セミナー・パンフ

レット・ホームページでの情報提供などがあります。利用していきましょう。

【質問コーナー】

Q 1 : 環境省のP R T R法では有害化学物質と表示されているのに、埼玉では有害と表示されていないのはなぜですか？

A 1 : 化学物質は、有害な物だけではないからです。

Q 2 : 環境コミュニケーションに参加する住民の募集はどのようにされるのですか？

A 2 : 事業所の隣接の自治会役員や関係者が主です。

Q 3 : 取扱や、製造をしていなくても化学物質が排出される寄居のごみ焼却場（資源循環工場）などの排出量は把握しているのですか？

A 3 : ダイオキシンのみの把握です。非意図的に排出される物質だからです。

(報告：轟 涼)

「暮らしを脅かす有害物質はいらない」

ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議
事務局長 中下裕子さん



はじめに

ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議(以下、国民会議)は1998年9月に158名の女性弁護士の呼びかけで、学者・医師・作家・法律家など、50名の発起人と共に設立したNPOです。物言えぬ野生生物と未来の子ども達に成り代わって、具体的な政策を提言し、ダイオキシン・環境ホルモン汚染の危機を回避する目的で活動を始めました。一番最初にダイオキシン汚染に着目し、緊急対策提言を発表しました。他にも「循環型社会基本法」(仮称)の立法提言、土壤汚染対策法案に対する意見書・NGO共同声明、容器包装リサイクル法の改正提言、「子ども環境保健法」(仮称)の立法提言など、多岐に亘る活動を行っています。また、国民会議は化学物質から身を守るためのブックレットを8冊発行しています。

化学物質に関する現行法の問題点

1. 指令塔なき省庁縦割り

化学物質に関する規制や法律は沢山ありますが、省庁が縦割りであるため充分機能していない。

2. 化学物質の影響を受ける国民や生態系の立場に立っていない。

3. 複合影響の評価の欠如はリスクを過少評価する恐れがある。

私たちの体の血液の中には50~100位の化学物質がある。

例1. ネオニコチノイド系農薬

1990年代に使われ始めた農薬。毒性はアセチルコリン受容体に結合するニセ神経伝達物質で、子どもの発達への影響が懸念されている。人の記憶にも影響を与える。根から吸い上げて茎や葉に上り、虫の神経毒があるので、ミツバチの大量死の原因と言われている。

例2. シックハウス・化学物質過敏症対策として、厚生労働省が「室内空気中の化学物質濃度の指針値を設定した。13物質の代替化は進んだが、ホルムアルデヒドは削減されてもネオニコチノイドが使用されるようになったり、他の未規制のVOC(揮発性有機化合物)の使用が増大している。化学物質過敏症対策は進んでいない。

例3. 「有害家庭用品規制法」の指定物質は20種のみで、製品としての安全性がチェックされていない。消臭・芳香剤、抗菌・除菌製品など、成分表示が義務付けられていないものが多い。有機リン化合物、有機フッ素化合物、ナノ物質など、毒性がわかっていないものも少なくない。おもちゃには表示がない。

例4 . 表示が所管法令ごとにバラバラ

合成洗剤を例に取ってみると、P R T R登録名、医薬部外品、化粧品、洗濯用、一般名でそれぞれ名称が違い、一般消費者にはとても判りにくい。

「化学物質政策基本法」の必要性

以上のようなことから、国民会議と有害化学物質削減ネットワークが中心となって「ケミネット」を結成し、「化学物質政策基本法」制定への取り組みが始まりました。ケミネットが提案する「基本理念」

化学物質の総量削減

「ノーデータ・ノーマーケット」原則

化学物質の影響を受けやすい人々や生態系への配慮

化学物質のライフサイクル管理

予防原則

代替原則

すべての利害関係者の参加

国際的協調

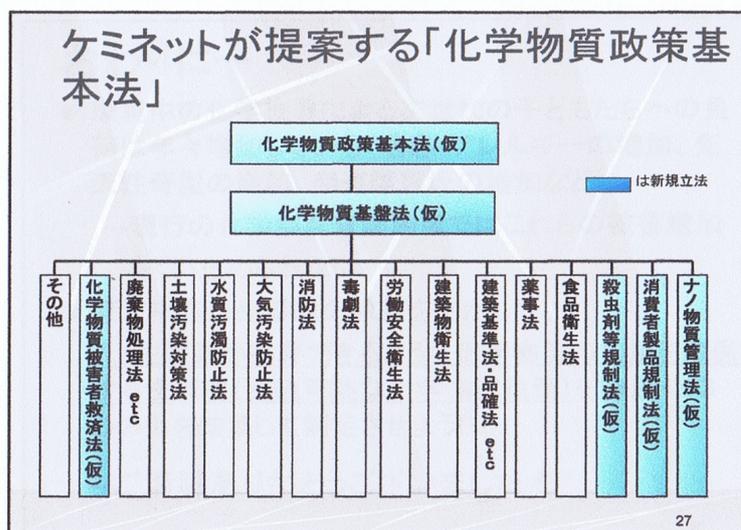
ケミネットが提案する「化学物質政策基本法」のイメージは下の図です。個別法を整備した上で「化学物質安全委員会」を設置し、国民の健康と環境を守るという中立・公正な独立組織が必要だと考えます。

ケミネットの呼びかけに賛同した団体・個人が60,000筆の署名を集め、昨年国会に提出しました。その後、民主党が政権を取り、プロジェクトチームを作り基本法（案）も出来ましたが、経済を優先する動きもあって厳しい状況です。今後もあきらめずに活動して行きます。皆さんも活動に参加してください。

おわりに

環境中の化学物質による次世代の子ども達への負荷は年々増加しています。現行の化学物質管理制度ではこれらの被害を食い止めることはできません。東電福島第一原発の事故を教訓として、人と生態系が共存できるような化学物質の利用を確保する制度を市民・NGOの力を結集して化学物質政策基本法を制定させましょう。

(報告：田中輝子)



焼却ごみの内容について(その2)

ごみを知ろう委員会 中澤啓子

取り組みが見えたかな？！

焼却場に出している乾燥データや湿データはそのままの数字で考えてしまうと若干誤差があります。そこで、ごみを知ろう委員会では独自の方法で焼却ごみの内容を解析しています。

ごみを知ろう委員会の“焼却ごみの内容解析”は、生ごみの量(エコ・リサ通信第76号5-7頁)だけでなく、紙や布、プラスチック、木や竹、等の量も計算しています。今回はプラスチックやビニールの量を比較してみたいと思います。

前回は書きましたが、この量には事業系のごみも含まれています。(産廃は含まれていません)

その回収や引き取りの方法は地区により違いますから単純に平均を出して比較し、その過多をとやかくいっても比べようはありません。しかし、処理費用は確実にかかっています。皆が努力してごみを減らしたり、少しでも出さないようにする事は最後に処分する灰の事まで考えると、経済的にも大変有意義なことです。取り組みを実行するのは大変なことです。取り組んだ結果は全県的なデータで比較するとそれなりに見えてきます。今回はそれを報告します。

* 各市町村のごみの量

市町村名	所沢市	東秩父村	八潮市	本庄市	熊谷市	北本市	宮代町	埼玉平均
1人一日あたり燃やしたごみの量	688	371	965	994	973	593	543	720
紙布類	201	137	272	279	260	169	124	212
ビニール、ゴム、皮革類(プラスチック含む)	34	17	137	141	151	38	19	85
木、竹、わら類	117	43	119	173	238	96	65	93
ちゅう芥類	320	163	388	346	289	272	312	303
不燃物類	3	4	17	8	23	4	7	11
その他	13	7	32	47	11	14	16	16

単位(g) / 1人一日あたり

所沢市はプラスチックのごみを各種回収しリサイクルしています。人口30万人を超えるこの自治体でこれだけの量にするのは大変な事だと思います。北本市やその近辺の自治体もプラスチックの回収に熱心です。数字から見ても、その取り組みの効果が表れています。

一方、八潮市や本庄市、熊谷市のごみはビニールやプラスチック類が大変多いようです。木や草も多いようにみえます。

プラスチックの容器類は流通の中で、なくてはならないもので、買い物をすれば必ず一緒に買って来てしまいます。大変軽いので回収してもごみの減量にはならないように思えますが、決してそんなことはありません。一つ一つは軽くても空気の中で沈んでいる限り重さはあるのです。水や油が染み出さないように、中身の取り出しが簡単にできるように、内容がきれいに見えるように、もちろん中身が傷まないように...と、色々に工夫された素材が使われていて、ごみとして燃やしてしまって大丈夫なのかどうか迷います。

元々は石油でできていますので、その石油の代わりにすることは可能で、マテリアルリサイクルやサーマルリサイクル、ケミカルリサイクル、等いくつかの方法でリサイクルされています。

しかし、まだまだその量は満足いくものではありません。リサイクルするから良いだろうと考えると結果として焼却ごみは増えます。

生ごみは乾かしたり食べてしまったり堆肥にしたりすれば少なくなります。プラスチックごみの減量は住民だけが努力してもなかなか少なくなります。ごみを買って来ない事は絶対に無理で、商店やメーカーの協力が必要です。ですから自治体の協力も入れて四方からの努力がもっと必要です。

多くの自治体で回収は始まっているようですが、プラスチックは容器だけではなくありません。製品プラとか単一プラとか呼ばれる容器以外のプラスチックもごみになっています。所沢の取り組みも始まったばかりですので、これからの結果に期待したいと思います。

* プラスチックのリサイクル

プラスチックのリサイクル方法は、大きく3つに分けられ新しく生まれ変わります。

分け方	リサイクルの方法	新たにつくられるもの
材料リサイクル (マテリアルリサイクル)	使い終わったプラスチック製品を溶かして、もう一度原料として使う方法	文房具、日用品、土木建築資材など
ケミカルリサイクル	使い終わったプラスチックを、原料やモノマーにもどしてまた樹脂にしたり、油にもどしたり、ガスにして化学原料にしたり、鉄をつくるときの還元剤として利用する方法	樹脂、燃料油、化学製品(アンモニアなど)、コークスの代わりとして使う
サーマルリサイクル (エネルギー回収)	使い終わったプラスチックをガスや油、固形燃料に変えたり、燃やしたときの熱を発電や蒸気として利用する方法	電気、暖房、温水プールなど

参考 社団法人プラスチック処理促進協会 より

http://www.pwmi.jp/tosyokan2/20_3recycle.html

報告 エコ・リサの出前講座

11月12日 9:30~11:30 泰平中学校 理科実験室において開催しました。

さいたま市立泰平中学校から、エコ学習の講座依頼がありましたので、今年は大前が担当しました。

泰平中学校では、「彩の国・教育の日」事業の一環として、体験学習講座が開催されています。今年度は生徒数も増えているため、詩吟・空手・ヨガ・手品・絵手紙など21種類の講座が企画され、エコ・リサが担当するエコ学習にも、男子生徒を中心に30名の参加がありました。

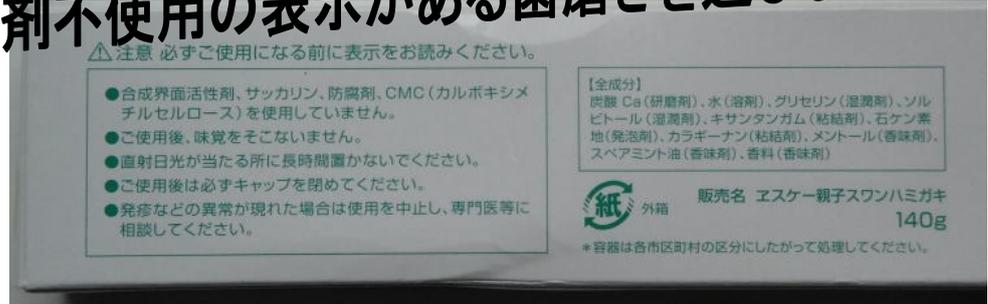
日常生活での省エネの必要性和具体的な取り組みを提案、環境買い物ゲームの中では、化学物質がたくさん使われていることに気づいてもらい、実際に、石けん歯みがきと合成界面活性剤歯磨きを体験してもらいました。歯磨き後、オレンジジュースを試しに飲んでもらい、味覚が変わってしまったことで、味覚神経の味蕾が一時的に麻痺状態になる化学物質の影響を実感できたようです。

今回、福島原発事故がありましたので、放射性物質について、原子力発電の仕組みから放射性物質の特徴、身体への影響などを説明しました。

先生からは、「平常授業の中で放射能については教えないので、泰平中学では、今年特別に課外授業を行った。今回のエコ学習で放射能について説明があったことはとてもよかった」とのことでした。(報告：大前万寿美)



合成界面活性剤不使用の表示がある歯磨きを選びましょう。



ご案内

エコ・リサイクル交流集会 2012

彩の国から再生可能エネルギーを！～地産地消を増やし、持続可能な社会をめざす～

<日時> 平成24年2月17日(金)

午後1時から午後4時30分(受付12:30～)

<会場> さいたま市文化センター 多目的ホール (4階)

事例発表：環境にやさしい小水力発電設備の導入 さいたま市水道局給水部

講演：「地域でエネルギーを自給する」未来バンク事業組合 理事長 田中 優 氏
(詳細は同封のチラシをご覧ください)

報告 JICA 海外研修生 & エコ・リサの交流会

12月8日(木) JICA 東京国際センターにて、パレスチナ・マーシャル・ジャマイカ・トルコなど9名の海外研修生を迎え、日本の環境NPOの代表として、活動報告をエコ・リサが行い、活発な質問があり、意見交換をしました。



毎回、海外研修生は、生ごみのダンボールたい肥とNPOの活動資金や組織運営の在り方に関心が高く、米や小麦の生産できない国から、「発酵を促進する代替品は何かよいのか?」「収入はどのようなものか?」と質問が出ます。

エコ・リサの参加メンバーを見て、マーシャルの女性が、「年配が多いようだが、日本でも若い人の環境活動への参加は少ないのか?」「問題解決のための国際的な交流は図れるだろうか?」などの質問がありました。「買い物バッグ持参などの習慣がありますか?」との清水さんの質問には、パレスチナとマーシャルでは個人的に買い物バッグやかごを持参する人はいるが少数であるとのことのお答えでした。



「環境NPOの全国大会がありますか?」との質問に、「廃棄物行政担当者の全国大会はあるが、ごみに関連するNPOが全国から集まるような会議を私たちが持っていない」ことに気づかされる場面もあり、有意義な時間を過ごすことができました。

エコ・リサ 入会のご案内

NPO法人埼玉エコ・リサイクル連絡会は、幅広い環境保全型のリサイクル活動を、市民団体だけでなく、製造・流通・再生資源などの事業者、各種団体・個人が参加し、県や市町村行政とも、ネットワークを創ってすすめています。

会費(年間)	個人会員	3,000円
	団体会員	5,000円
	賛助会員	10,000円(1口)
	協賛バナー登録	50,000円(年間)

* 振込み先・会費納入の際のご注意

郵便振替口座番号 00110-7-764571
加入者名 NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会
埼玉りそな銀行 大宮支店 普通 5392559
名義 特定非営利活動法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会

郵便振替で入金される方は、お手数ですが
通信欄に新規会員あるいは 会員
年度分と明記の上、お振り込みをお願いします。(事務局)

****エコ・リサ会員の方にエコ・リサ通信の今後の配信方法についてのご願い****

事務作業、省コストの点からmail配信への移行をすすめております。

メール配信希望の方は ecorisa-npo@fuyo-hin.com まで「エコ・リサ通信mail配信希望」として氏名・アドレスの連絡をお願いします。

編集後記 持続可能な日本であるために、若者の参加、地域の活動報告、エコ・リサの活動へのご意見等、心よりお待ちしております。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。(大前)